



「歯科口腔外科のとりくみ」

手術部副部長(兼) 歯科口腔外科科長 小林 武仁

皆さま方には日頃より大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

当科は、置賜地域における基幹総合病院歯科口腔外科としての役割を担っており近隣の市町村歯科医師会と医療連携を結び、診療所で治療困難な症例、難易度の高い症例などを紹介いただき治療を行っています。主な治療内容



は、口腔腫瘍(良性・悪性)、外傷(顎骨骨折、顔面外傷)、顎変形症(上顎前突、下顎前突など)、有病者に対する観血的処置などの治療を行っています。また、院内においては周術期外来や NST(栄養サポートチーム)の活動に注力しております。その中でかかりつけの歯科医院がない患者さんが多く見受けられることから従来以上にかかりつけ歯科医院の重要性を説明し積極的に逆紹介を行っています。

口腔は咀嚼などの食べる機能や会話してコミュニケーションをとる機能を備えている重要な器官です。近年はそれらの機能に加え「オーラルフレイル」(オーラル：口腔・フレイル：虚弱)という考え方より口腔機能の衰えが全身の老化につながり身体的、精神的、社会的な健康の障害になることが厚生労働省「フレイル予防事業」でも指摘されております。オーラルフレイルの予防には定期的な歯科医院でのケアが重要だと考えております。当科を受診後にも患者さんの口腔健康が改善、維持できるようにスタッフ一同全力で取り組んでいきますので当科への変わらぬご支援ご協力を衷心より重ねてお願い申し上げます。

表 各年の歯科口腔外科 紹介・逆紹介件数

	紹介件数	逆紹介件数(月平均)
令和3年	1006	987 (82.25)
令和4年	1013	1015 (84.58)
令和5年12月まで	794	1057 (117.44)



特集
『歯科口腔外科のとりくみ』
手術部副部長(兼)
歯科口腔外科科長 小林武仁
…1

令和5年度
第2回公立置賜総合病院
医療連携推進協議会及び
公立置賜総合病院登録医総会
開催報告
…2,3

医療連携・相談室からのお知らせ①
…3

医療連携・相談室からのお知らせ②
出前講座のご報告
…4

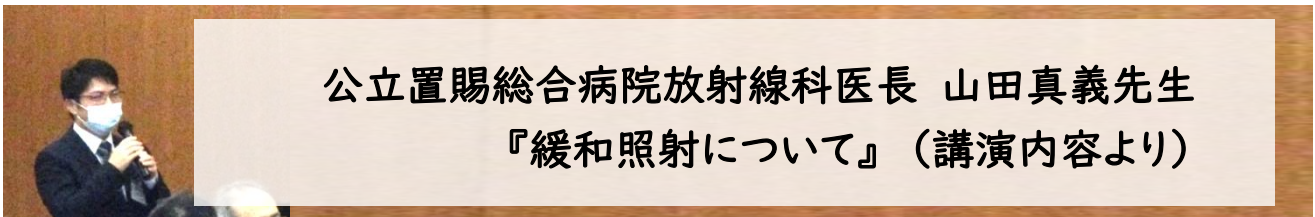
令和5年度第2回公立置賜総合病院医療連携推進協議会及び 公立置賜総合病院登録医総会 開催報告

令和5年10月12日(木)18:30～ 於:むつみ荘(南陽市赤湯)

会議



秋の深まる中、年1回行われる登録医総会を開催しました。5年ぶりの対面開催となり、院外21名、院内13名の医師、歯科医師にご出席いただきました。10月の登録医総会開催時点で、置賜地域145施設の医科診療所、歯科診療所のご登録をいただいております。登録医の先生方におかれましては、日頃より当院と紹介・逆紹介はじめ多くの連携にご協力いただき、心より感謝申し上げます。



緩和照射は、痛みをはじめとする身体症状の改善やQOLの向上、今後起こりうる症状への対応を目的としています。

放射線治療は、放射線により、“がん”のDNAを破壊することです。放射線治療は対症療法ではなく原因療法となります。鎮痛薬の減量・断薬、患者の治療ニーズを満たすことができます。

放射線治療を受ける患者は、欧米は約6-7割、日本は約2-3割と低く、放射線治療を受ける患者はもっと多いと思っています。

緩和照射のポイント

- ☑緩和照射の対象には、骨転移や脳転移の他に、上大静脈症候群、腫瘍からの出血や皮膚転移・浸潤などもある。
- ☑有痛性腫瘍は、疼痛出現から照射開始までの期間が短い方が、治療効果が高い。痛みが出たら早めに照射すべき。
- ☑脊髄圧迫を伴う骨転移では、神経症状が出現・進行する前に（可能であれば歩行可能な状態で）照射を開始したい。



特別講演

緩和照射の適用のある患者様はもっと多いのではないかと思います。お気軽に放射線科にご相談ください。患者さん自身の来院が難しい場合、カルテ診察や画像診察もご相談いただければと思います。



懇親会

新型コロナウイルス感染症流行後、懇親会を中止しておりましたが、今年度は5年ぶりに赤湯温泉むつみ荘にて懇親会を開催いたしました。和やかな雰囲気の中、病院内外の先生方との意見交換ができました。来年度も顔の見える関係づくりができるよう、企画に工夫を重ねてまいります。



医療連携・相談室からのお知らせ①

—共同診療のご協力ありがとうございます!—

置総主治医

施設嘱託医
(かかりつけ医)

家族



受け持ちNs

MSW

施設CM

施設Ns

公立置賜総合病院医療連携登録医制度の一つに、紹介入院患者共同診療制度があります。かかりつけ医である登録医と公立置賜総合病院の主治医が共同して患者様の検査、処置、指導（以下、共同診療）を行い、退院後に向けた円滑な診療の継続を目的としています。

令和5年度は12月末日時点で5件（Web含む）の共同診療を行っています。患者様、ご家族様が安心して退院できるように多職種連携で退院支援に尽力していきます。

写真は特別養護老人ホームに退院される患者様について、共同診療と退院調整会議を開催している様子です。

医療連携・相談室からのお知らせ② —患者サポートセンターがスタートします—

当院医療連携・相談室では2月中旬より、従来の入院支援部門・相談窓口・がん相談支援センターを一新し、「患者サポートセンター」をスタートします。

入院のご案内は個室にて行いますので、これまでと比べてご移動の負担が少なく、プライバシーに配慮した入院のご案内が出来るようになります。

また、相談窓口・がん相談支援センターはこれまで同様、担当スタッフが各種医療相談や福祉相談、がん相談に対応いたします。院内外の方にご利用いただけますので、ご利用の際はスタッフにお声がけください。

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町

大字西大塚 2000 番地

TEL : 0238-46-5000 (代表)

ホームページ :

www.okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 E-mail

renkei@okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 1

(退院支援・精神・連携部門)

FAX : 0238-46-5721

医療連携・相談室 2

(相談・入院支援部門)

FAX : 0238-46-5030

予約センター (直通)

TEL : 0238-46-5700

FAX : 0238-46-5722

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

あしがき

新年が明け、早くも2か月ですが、いかがお過ごしでしょうか。

本年も当院医療連携・相談室はますますパワーアップ!

皆様と当院とのつながりをより一層深められるよう邁進いたしますので、よろしく願いいたします。

—出前講座のご報告—

出前講座担当です。

いつも当院の出前講座をご活用いただきありがとうございます。

今年度は、

- ・感染対策に関する講座 5件
- ・慢性呼吸器疾患と対応に関する講座 1件
- ・嚥下に関する講座 1件
- ・ACP・終活に関する講座 (いきいき終活) 2件
- ・認知症に関する講座 1件

計 10 件の依頼をいただき、講演させていただいております。

※2024年1月末現在

感染対策

- ・感染症に関する研修は、年に一回はお聞きしたい。
- ・実演があり、わかりやすく、すぐに役立てることができて良かったと思います。

嚥下

- ・わかりやすく、明日からすぐ実践したい。その方に合ったとろみを試したい

慢性呼吸器疾患と対応

- ・ケアプランを立てるにあたって、息苦しくなりやすい動作や呼吸法、対処法などを学べて、とても勉強になりました。
- ・実際に呼吸器疾患をお持ちの方の呼吸について、体験して研修する機会はなかったので、大変勉強になりました。

ACP・いきいき終活

- ・自分の今後の事を、家族と話し合いたいと思いました。
- ・揺らぐ気持ちも大切にしているというところに共感しました。

たくさんのご感想をいただいております

今回取り上げた内容以外の講座も承っております。

ご検討の際は一度ご相談ください。今後もたくさんのご依頼をお待ちしております!

詳細は [置賜総合病院 出前講座](#) と検索ください。